

## 教育 おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(410)

### ◆歩いて学校に行こう！

大崎町教育委員会では、児童生徒が登下校時に『歩く』ことで運動時間を確保するため『歩いて登下校ゾーン（ウォーキングゾーン：WZ）』を各学校に設定しています。

また、安心安全に登校できるようスクールガードリーダーやPTAの方にも協力をいただきながら見守り活動も行っています。朝の交差点では、子どもたちが元気にあいさつする姿が見られ、あいさつの輪が広がっています。

学校ごとにウォーキングゾーンを設定する区域は異なりますが、全校で『歩いて登下校』を推進していますので、保護者の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



▲大崎小学校前

### ◆むし歯ゼロをめざして

新学期が始まり各小中学校では、内科・耳鼻咽喉科・心臓検診などの各種検診が行われています。

4月25日から26日、大丸小学校で歯科検診が行われました。検診では、学校歯科医の新堂先生によりむし歯の有無のほか、歯並びや噛み合わせなどを診ていただきました。

また毎年6月4日から10日は『歯と口の健康週間』となっており、各学校でもブラッシング指導などを行っています。

町では、子ども医療費助成制度がありますので、早期治療や予防のためにも医療機関への定期的な受診をお願いします。



▲大丸小学校の歯科検診

## まぶい窓おしえの庭

『常識という名の渡航許可証』

No.43 大丸小学校 校長 山口 博

十年ほど前に病院に行ったときの出来事です。私が受付用紙に氏名を記入して、椅子に座ろうとすると、その受付の男性が「保険証」と言いました。通常ならば、「保険証をお預かりいたします。」とか「すみませんが、保険証をお願いします。」とか話すところです。次にたくさんの薬をもらい、たくさんのお金を支払うと「百二十円」と私にお釣りをくれました。これも普通は、「お釣りは百二十円です。お大事に」くらい言うべきであろうと思います。これを常識といいます。この受付の方はかなりの年齢であるにもかかわらず、しつけをしてもらわなかったばかりに、常識を身に付けることができなかったのです。「すみませんが」「失礼ですが」「お手数ですが」「お大事に」などの言葉を知っていれば、あるいは相手に対する思いやりのひとかけらでもあれば、私は嫌な思いをせずに済んだのです。それくらい気にしなければよいと思う方もいるかもしれませんが、でもみんながお互いの気持ちを大切にすることをもちった常識ある場所と何にも思いやりのない非常識な場所で生活するのはどちらが幸福でしょうか。

私たちの先人は、長い年月をかけて争い事を少しでも減らすために、あるいは幸福に暮らすために、多くの常識を作り出し、大切にしてきました。しかし、ここ数十年、私たち大人は「そんな時代遅れだ。」と、多くの常識を失ってきてはいないでしょうか。『人様の前を横切るときは「失礼（すみません）」と断ってから』『公道でしゃがむのは見苦しい』『お客様には「ありがとうございました』』など。常識がないと、社会に出てから他人に迷惑をかけるだけでなく、組織や地域に溶け込むことが難しくなります。望む仕事にも就けないかもしれません。常識とは、人生をなるべく安全に航行するための渡航許可証なのかもしれません。